

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

12:51

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第23453報)

2022年4月14日12時45分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第2.5条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者: 大野 公輔  
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第23451報でお知らせしたとおり, 1号機の原子炉注水設備においては, 今後の水中ROVによる調査再開の準備に伴い, 本日12時14分, 原子炉注水量を以下のとおり変更しました。</p> <p>&lt;原子炉注水変更&gt; 原子炉注水量 : 4.0m<sup>3</sup>/h→6.0m<sup>3</sup>/h 内訳 ・FDW系注水量 : 2.5m<sup>3</sup>/h→4.5m<sup>3</sup>/h ・CS系注水量 : 1.5m<sup>3</sup>/hにて変更なし</p> <p>関連パラメータについては, 異常のないことを確認しました。 引き続き, 慎重に監視してまいります。</p> <p>【公表区分: E】</p> <p>※添付の有リ・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは, 日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

15:02 1/11  
様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23454報)

2022年4月14日 14時50分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 大野 公輔

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時: 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント関連パラメータ [4月14日11時00分現在]</li> <li>・サブドレン等 分析結果 [採取日 4月13日]</li> <li>・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 4月13日]</li> <li>・構内排水路 分析結果 [採取日 4月13日]</li> <li>・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 4月11日、4月13日]</li> <li>・海水分析結果&lt;港湾内、放水口付近&gt; [採取日 4月13日]</li> <li>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</li> <li>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</li> <li>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</li> </ul> <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクAの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、4月15日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 4月10日]</li> </ul> <p>【公表区分: その他】</p> <p>※添付の(有り) - 無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事象該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/11

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2022年4月14日 11:00現在

【注意事項】  
各項目の単位については、単位やその他の表記変更の影響を受けて、実際の使用用途と異なる場合があります。正しく確認を行い、正しい単位や表記を使用してください。また、最新のプラントの状況を確認してください。このように表記の正確性を確保するために、最新のプラントの状況を確認し、必要に応じて単位や表記を変更して報告するようにしてください。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.4 m <sup>3</sup> /h CS系: 1.5 m <sup>3</sup> /h (4/14 11:00 現在)	給水系: 1.8 m <sup>3</sup> /h CS系: 0.0 m <sup>3</sup> /h (4/14 11:00 現在)	給水系: 1.7 m <sup>3</sup> /h CS系: 0.0 m <sup>3</sup> /h (4/14 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 内部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 14.9 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 14.3 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 14.4 °C (4/14 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 223 °C RPV温度 (TE-2-3-69F): 272 °C (4/14 11:00 現在)	スカーフタンク上部温度 (TE-2-3-69F1): 21.0 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 18.8 °C (4/14 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 14.4 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 14.4 °C (4/14 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 227 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HV-2-16B (TE-16-114G#1): 228 °C (4/14 11:00 現在)	格納容器冷却戻り空気温度 (TE-16-114A): 20.1 °C 格納容器冷却戻り空気温度 (TE-16-114F#1): 18.6 °C (4/14 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.09 kPa.g (4/14 11:00 現在)	2.93 kPa.g (4/14 11:00 現在)	0.45 kPa.g (4/14 11:00 現在)	
空素却入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm <sup>3</sup> /h (RVH-B): 15.42 Nm <sup>3</sup> /h (JP-A): 14.07 Nm <sup>3</sup> /h (JP-B): - Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h (4/14 11:00 現在) ※4	RPV-A: 5.55 Nm <sup>3</sup> /h RPV-B: 5.57 Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h (4/14 11:00 現在) ※4	RPV-A: 8.36 Nm <sup>3</sup> /h RPV-B: 8.59 Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h (4/14 11:00 現在) ※4	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	20.5 m <sup>3</sup> /h (4/14 11:00 現在)	17.50 Nm <sup>3</sup> /h (4/14 11:00 現在)	20.73 Nm <sup>3</sup> /h (4/14 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (4/14 11:00 現在)	A系: 0.08 vol% B系: 0.08 vol% (4/14 11:00 現在)	A系: 0.12 vol% B系: 0.12 vol% (4/14 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射線濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 1.04E-03 Ba/cm <sup>3</sup> 検出限界値 3.24E-04 B系: 指示値 8.24E-04 Ba/cm <sup>3</sup> 検出限界値 3.67E-04 (4/14 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.3E-01 Ba/cm <sup>3</sup> B系: 指示値 ND 検出限界値 1.3E-01 Ba/cm <sup>3</sup> (4/14 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.5E-01 Ba/cm <sup>3</sup> B系: 指示値 ND 検出限界値 1.5E-01 Ba/cm <sup>3</sup> (4/14 11:00 現在)	
使用時燃料プール 水温度	22.3 °C (4/14 11:00 現在)	21.9 °C (4/14 11:00 現在)	℃ ※5 (4/14 11:00 現在)	℃ ※5 (4/14 11:00 現在)
FPC 注水ポンプ 水位	4.15 m (4/14 11:00 現在)	3.55 m (4/14 11:00 現在)	m ※6 (4/14 11:00 現在)	67.1 × 100mm (4/14 11:00 現在)

【注】  
※1: 原子炉格納容器内水素濃度の測定値。水素濃度の測定値は、計測値に0.1ppmのオフセットを適用した値を示す。  
※2: 原子炉格納容器内放射線濃度の測定値。放射線濃度の測定値は、計測値に0.1Bq/cm<sup>3</sup>のオフセットを適用した値を示す。  
※3: 空素却入流量は、原子炉格納容器からの排気流量を示す。  
※4: 空素却入流量は、原子炉格納容器からの排気流量を示す。  
※5: 使用時燃料プール水温度は、燃料プール内の平均温度を示す。  
※6: 注水ポンプ水位は、注水ポンプタンク内の水位を示す。

3/11

2022年4月14日  
 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一原子力発電所推進カンパニー

サブドレン等 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機サブドレン	2022/04/13 07:46	< 7.5E+00	< 4.8E+00	1.5E+02
2号機サブドレン	2022/04/13 07:27	< 2.5E+01	1.8E+02	6.6E+03
3号機サブドレン	2022/04/13 07:40	< 4.7E+00	< 4.1E+00	< 4.4E+00
4号機サブドレン	2022/04/13 07:56	< 5.1E+00	< 5.1E+00	< 5.6E+00
5号機サブドレン	—	—	—	—
6号機サブドレン	—	—	—	—
構内深井戸	—	—	—	—

- ・検種毎の半減期: I-131(約8日), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・0.0E±0とは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31, 3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

4/11

2022年4月14日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2022/04/13 07:56	< 5.1E+00	< 5.1E+00	< 5.6E+00
プロセス主建屋北東	2022/04/13 08:29	< 4.4E+00	< 3.6E+00	< 5.1E+00
プロセス主建屋南東	2022/04/13 08:25	< 4.0E+00	< 3.4E+00	< 5.1E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2022/04/13 08:10	< 4.4E+00	< 4.4E+00	< 4.4E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2022/04/13 08:05	< 5.3E+00	< 5.7E+00	2.6E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2022/04/13 08:15	< 5.6E+00	< 4.8E+00	< 4.4E+00
サイトバンカ建屋南東	2022/04/13 08:20	< 4.0E+00	< 3.8E+00	< 4.5E+00

・検出限界の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・0.0E+0とは、0.0x10<sup>0</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1x10<sup>1</sup>で31、3.1E+00は3.1x10<sup>0</sup>で3.1、3.1E-01は3.1x10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

5/11

2022年4月14日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/04/13 07:45	< 3.1E+00	< 4.6E-01	1.7E+00
物揚場排水路	2022/04/13 07:50	< 3.1E+00	< 5.9E-01	8.7E-01
K排水路	2022/04/13 06:00	4.5E+00	< 6.3E-01	3.5E+00
BC排水路	2022/04/13 06:00	< 3.1E+00	< 4.5E-01	< 5.1E-01
5,6号機排水路※1	2022/04/13 08:40	< 3.1E+00	< 7.1E-01	< 8.0E-01

- ・検出半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
- ・不等号 (< : 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・O.CE±0とは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。
- ・(例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31, 3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読み、採取当日の降雨量は0 mm。
- ・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。
- ※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

6/11

2022年4月14日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(1/2)

観測地点	採取日時	分析項目										単位
		全β	H-3	Mn-54	Co-60	Ru-106	Sr-90	Cs-134	Cs-137	塩素		
No.0-1	2022/04/11 07:56	8.9E+01	5.2E+03	< 1.7E+00	< 2.2E+00	< 1.4E+01	< 5.7E+00	< 1.4E+00	1.0E+01	—	—	
No.0-1-2	2022/04/11 07:52	3.1E+03	1.0E+04	< 3.1E-01	< 3.9E-01	< 2.6E+00	< 1.1E+00	< 4.6E-01	4.0E+00	—	—	
No.0-2	2022/04/11 08:08	< 1.2E+02	2.0E+02	< 2.6E-01	< 2.6E-01	< 2.3E+00	< 8.3E-01	< 2.3E-01	< 3.4E-01	—	—	
No.0-3-1	2022/04/11 07:47	< 1.2E+01	< 1.1E+02	< 3.0E-01	< 4.0E-01	< 2.8E+00	< 1.4E+00	< 3.5E-01	1.9E+00	—	—	
No.0-3-2	2022/04/11 07:44	1.5E+01	1.2E+04	< 2.7E 01	< 3.7E-01	< 2.3E+00	< 8.5E-01	< 2.3E-01	6.9E-01	—	—	
No.0-4	2022/04/11 08:03	< 1.2E+01	8.1E+03	< 3.1E 03	< 3.8E-01	< 3.6E+00	< 1.4E+00	< 3.9E-01	2.3E+00	—	—	
No.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-9*	2022/04/11 07:40	7.4E+01	5.4E+02	—	—	—	—	—	—	7.8E+01	—	
No.1-11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

・検査物の半減期：H-3(12年)、Mn-54(83日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約90日)、Sr-90(約28年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)  
 ・不平等(＜)は、検出限界未満を示す。  
 ・測定値が検出限界未満の場合は「—」と表示。  
 ・O.0E+00は、0.0x10<sup>0</sup>であることを示す。  
 ・(例) 3.1E+01は3.1x10<sup>1</sup>で、3.1E+01は3.1x10<sup>1</sup>で、3.1E-01は3.1x10<sup>-1</sup>で0.31と読む。  
 ・H-3は、放射線量計で測定される。  
 ・\*1 No.1-9は、放射線量計による測定であるため、検出限界未満を示す。単位は参考値として示されている。

7/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目												
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)				
1号観測孔 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2	2022/04/11 07:32	2.3E+02	3.2E+02	< 2.8E-01	< 3.1E-01	< 2.5E+00	< 9.6E-01	3.0E-01	7.9E+00	-	-	-	-	
No.2-2	2022/04/11 07:20	1.7E+02	3.6E+02	< 1.7E+00	< 2.2E+00	< 1.6E+01	< 7.2E+00	< 2.2E+00	4.8E+01	-	-	-	-	
No.2-3	2022/04/11 07:25	2.8E+04	3.1E+03	< 2.3E-01	< 2.6E-01	< 2.9E+00	< 9.5E-01	< 3.3E-01	2.0E+00	-	-	-	-	
No.2-5 ※2	2022/04/11 07:00	1.5E+05	3.1E+03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2-7	2022/04/11 07:35	1.0E+02	9.2E+02	< 3.7E-01	< 4.4E-01	< 3.7E+00	< 1.3E+00	< 3.7E-01	1.6E+00	5.0E+02	-	-	-	
No.2-8	2022/04/11 07:29	1.1E+03	2.1E+02	< 3.0E-01	< 4.0E-01	< 2.5E+00	< 9.2E-01	< 2.7E-01	1.2E+00	-	-	-	-	
1,3号観測孔 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3-5 ※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1,4号観測孔 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

・検出限界値: H-3(12Bq), Mn-54(5010Bq), Co-60(5年), Ru-106(570日), Sb-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)  
 ・不等号 (<:小なり) は、検出限界未満 (MD) を意味する。  
 ・測定対象外および検出停止の項目は「-」と記す。  
 ・0.0E+00は、0.0x10<sup>0</sup>であることを意味する。  
 (例) 3.1E+01は、3.1x10<sup>1</sup>で31、2.1E+00は、2.1x10<sup>0</sup>で2.1、3.1E-01は、3.1x10<sup>-1</sup>で0.31と読み。  
 ・H-3以外の項目にお知らせあり。  
 ※2 No.2-5、No.3-5は、放射能による検出であるため、精度は悪化します。これは参考値としての値に過ぎません。



8/11

2022年4月14日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日	全β (Bq/L)	分析項目					Cs-137 (Bq/L)	総濃度 (ppm)
			Co-60 (Bq/L)	U-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)		
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-6	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-9 *1	2022/04/13 08:36	1.5E+01	-	-	-	-	-	7.4E+01	
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-16	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	

・総濃度の検出限: Mn-54(検出限0Bq/L), Co-60(検出限50Bq/L), U-106(検出限50Bq/L), Sb-125(検出限50Bq/L), Cs-134(検出限2Bq/L), Cs-137(検出限10Bq/L)  
 ・不検出 (<: 0.05Bq/L) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と表示。

・O.Ce±0とは、 $0.0 \times 10^0$ であることを意味する。

・単位) 1.1E+01は $1.1 \times 10^1$ で31, 1.1E+00は $1.1 \times 10^0$ で31, 1.1E-01は $1.1 \times 10^{-1}$ で0.31と表示。

※1 No.1-9は、取水圏による汚染であるため、V値には反映せず、全βの参考値としてのみ結果に判定。

9/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

観測地点	採取日時	分析項目							塩素 [ppm]
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	
1,2号観測ポイント 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-
No.2		-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-2		-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-3		-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-5 #7		-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6	2022/04/13 (8:30)	5.2E+02	< 2.6E-01	< 3.4E-01	< 2.8E+00	< 1.1E+00	< 3.6E-01	9.4E+00	-
No.2-7	2022/04/13 (8:26)	4.2E+02	< 3.0E-01	< 3.2E-01	< 1.5E+00	< 1.4E+00	< 3.6E-01	1.2E+00	4.9E+02
No.2-8		-	-	-	-	-	-	-	-
1,3号観測ポイント 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-
No.3		-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-2		-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-3		-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-4		-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-5 #7		-	-	-	-	-	-	-	-
1,4号観測ポイント 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-

・観測停止半減期: Mn-54(約5年), Co-60(約5年), Ru-106(約170日), Sb-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)  
 ・不検出 (<:小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。  
 ・測定対象外および検出停止の項目は「-」と表示。  
 ・O.O.E±Oとは、O.O×10<sup>0</sup>であることを意味する。  
 (例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と表示。  
 ※2 No.2-5, No.3-5は、降水量による変動があるため、V値は表示していません。

10/11

2022年4月14日  
 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/04/13 08:50	—	< 7.6E-01	< 7.8E-01
1F 6号機取水口前	2022/04/13 08:30	< 1.5E+01	< 4.7E-01	< 3.8E-01
1F 物揚場前	2022/04/13 07:40	1.8E+01	< 5.2E-01	< 3.9E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東浜除染北側)	2022/04/13 07:30	< 1.5E+01	< 4.7E-01	1.2E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (通水壁前)	2022/04/13 07:25	< 1.5E+01	< 5.1E-01	2.7E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/04/13 09:06	1.2E+01	< 7.3E-01	< 7.6E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/04/13 06:43	< 1.3E+01	< 3.5E-01	< 4.9E-01
1F 港湾中央	2022/04/13 06:39	< 1.3E+01	< 4.0E-01	< 3.4E-01
1F 港湾内東側	2022/04/13 06:41	< 1.3E+01	< 3.2E-01	< 3.2E-01
1F 港湾内西側	2022/04/13 06:37	1.4E+01	< 2.7E-01	5.6E-01
1F 港湾内北側	2022/04/13 06:35	< 1.3E+01	< 2.5E-01	< 3.2E-01
1F 港湾内南側	2022/04/13 06:45	< 1.3E+01	< 2.9E-01	4.3E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
告示濃度限度 <sup>※1</sup>			6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期: Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)  
 ・不等号 (<: 小なり) は, 検出限界値未満 (ND) を表す。  
 ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。  
 ・0.0E±0とは, 0.0×10<sup>±0</sup>であることを意味する。  
 (例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。  
 ・物揚場前は, シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。  
 ※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度  
 (別表第一第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])  
 ※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2022年4月14日  
 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一原子力発電所

### サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m <sup>3</sup> )	分析機関	分析項目					その他 Y核種
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)		
一時貯水タンク (サブドレン)	A 2022/04/10 07:23	930	東京電力	< 1.8E+00	8.8E+02	< 5.7E+01	< 8.0E-01		検出なし
			東北緑化環境保全(株)	< 3.4E-03	9.5E+02	< 4.4E-01	< 6.3E-01		検出なし
	運用目標			3.0E+00 (1.0E+00)※3	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00		検出されないこと※2
	告示濃度限度※3				6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01		
	WHO飲料水ガイドライン				1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01		

・核種の半減期：H-3(約12年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号( < ; 小なり ) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・0.0E+0 とは、0.0x10<sup>0</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1x10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1x10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1x10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値 [1 Bq/L未満] を確認する測定にて検出されないこと (天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規程に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

11/11

東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一原子力発電所

1502  
 様式0-1(1/2)  
 (第23455報)

応急措置の概要 (原子炉施設)

2022年4月14日 14時50分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 原子力防災管理者 大野 公輔  
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第23449報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクLに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水開始 : 10時10分</li> <li>・排水終了 : 13時22分</li> <li>・排水量 : 475 m<sup>3</sup></li> </ul> <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有り(無し)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。  
 (注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。  
 (注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。  
 (注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。